

令和6年2月7日

保険薬局 各位

一般社団法人 静岡市薬剤師会
会 長 河 西 き よ み

令和5年度第2回静岡県立こころの医療センター打合わせ会 報告書

開催日 令和6年1月15日(月) 18:30~19:00

開催場所 こころの医療センター 中会議室

出席者 こころの医療センター 大橋副院長、村上牧子医療部長、佐野総務経営課長、
佐藤総務経営課経営係主任、櫻井薬剤室長、内田主任薬剤師
静岡市薬剤師会 河西会長 佐藤理事 大代理事
のぞみ薬局
清水薬剤師会 柴田専務理事

1 保険薬局より

1) 院外処方せんへの検査値記載について

今のところその予定はないが、現状のA5版の処方せんにおいて印刷不備が発生するため、A4版へ変更や紙質の変更等の検討が始まっている。A4版に変更する場合は、検査値記載を検討する余地はある。

2) 院外処方せんにおける疑義照会簡素化プロトコールについて

医薬品の供給不足問題により、後発品から先発品への変更に伴う疑義照会が増えている。医師の負担が大きくなるようなら院内で検討させていただく。

3) 医薬品の供給不足について

アキネトン、ピペリデン、アーテン、混合ビタミンB製剤の供給が困難になってきているのでこれらが全く供給されなくなった際の対応をあらかじめ貴院で検討いただきたい。

2 こころの医療センターから

1) 保険薬局からの報告について(疑義照会、調剤過誤報告)

疑義照会について

前期から大きく変動している項目は「剤形変更」で、ヒベルナ糖衣錠の入荷が滞っていたためヒベルナ散に剤形変更する内容が多かった。

調剤過誤報告について

① トラゾドン錠 25mg 1錠不眠時の処方に対して、トラゾドン錠 50mg を調剤。当初 50mg

錠で処方されていたが、残薬があるため処方が一時中止された。再開時に規格が 25mg に変わったが変更前の 50mg で調剤した。再発防止策としては処方毎の確認を徹底する。

- ② セパゾン錠 2mg4 錠の処方に対して、ホリゾン 2mg4 錠を調剤。再発防止策としては処方箋のコピーに薬品名、規格、錠数のチェックを行いながら鑑査し、慎重な確認に心掛ける。

2) 一般名処方について

検討した結果、部門システムのマスター作成ツールが一般名処方に対応しておらず、システム改修しなければ一般名処方は出来ないということが判明したので今のところ是对応できない。

3) 電子処方箋について

県立総合病院で導入準備中であるが、当院は県立総合病院を追って検討が開始される。

3) クロザピン処方への対応について

クロザピンの導入は 18 週の入院で行うこととされている。クロザピンを調剤するには登録が必要であるが、申請から登録まで 1 カ月程度の期間を要するため、事前に対応していただくようお願いしたい。

保険薬局での登録には、薬剤師 2 名が必要となるので注意してください。

3 その他

次回開催予定 令和 6 年 7 月 8 日 (月) 18:30 から